



Rails技術者認定ブロンズ ベータ試験レポート

平成23年2月吉日



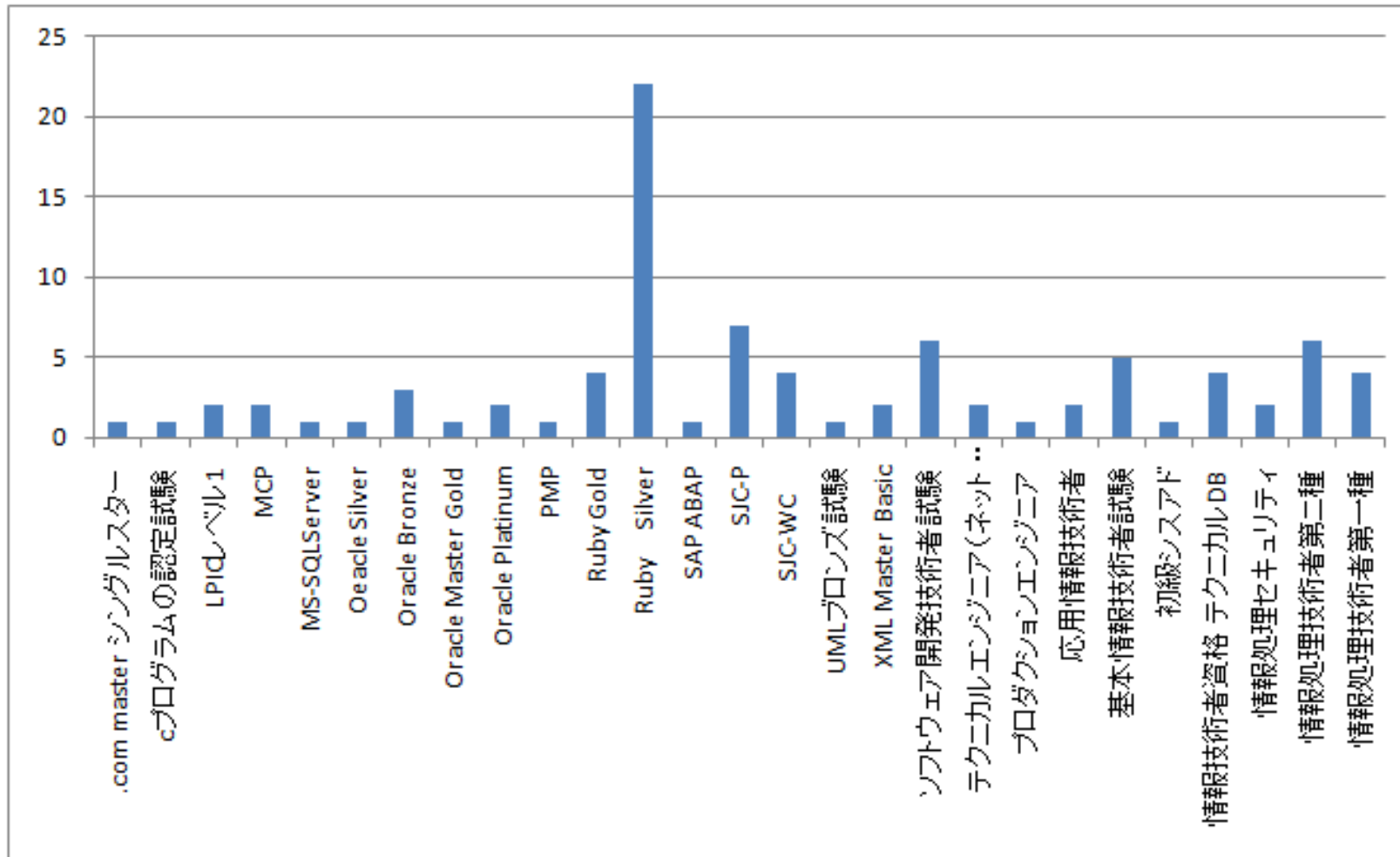
Rails技術者認定試験運営委員会
Mail: office@railscp.jp
公式Twitter <http://twitter.com/railscp>

- 名称
 - Rails 3 技術者認定ブロンズ・ベータ試験
- 種別
 - ブロンズ試験: Ruby on Railsの基本知識を問う試験(ベータ試験)
- 実施日程
 - 2011年1月19日(水)と21日(金)
- 目的
 - Rails3技術者認定ブロンズ試験の品質向上
- 対応バージョン
 - Rails 3.0
- 受験料金
 - 無料
- 試験会場
 - アイティメディア 本社機会議室
- 出席人数
 - 48名

受験者属性

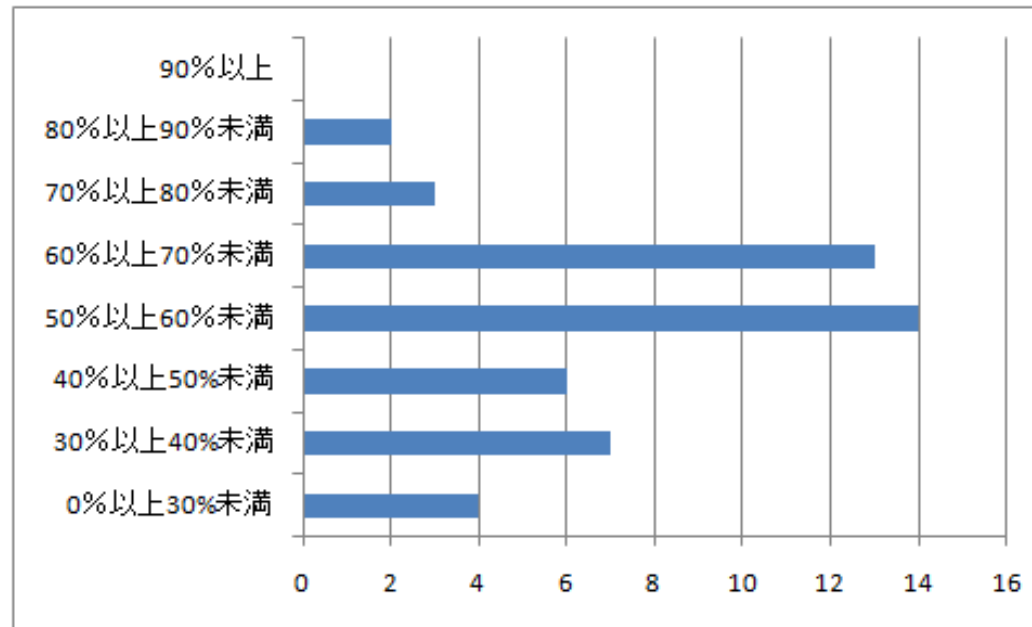
- プログラミング歴 9.4年
- Rails歴 1.7年
- 年齢分布
 - 20代未満 0人
 - 20代 18人
 - 30代 22人
 - 40代 6人
 - 50代以上 1人
- 立場
 - IT会社勤務 40人
 - フリーランス(IT) 6人
 - 非IT系会社 1人
 - 学生 1人

■ 保有資格

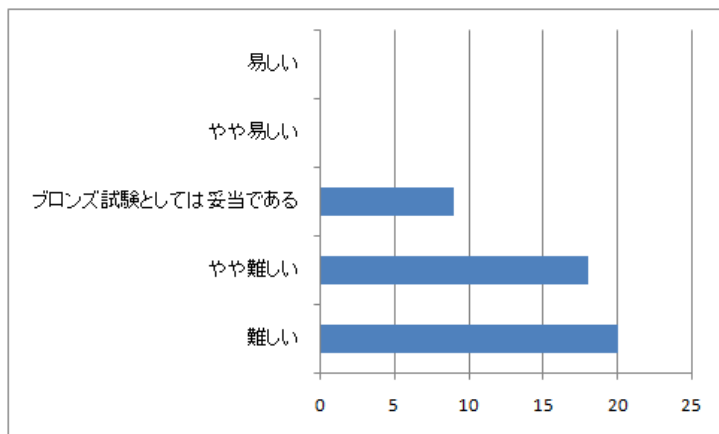


試験結果

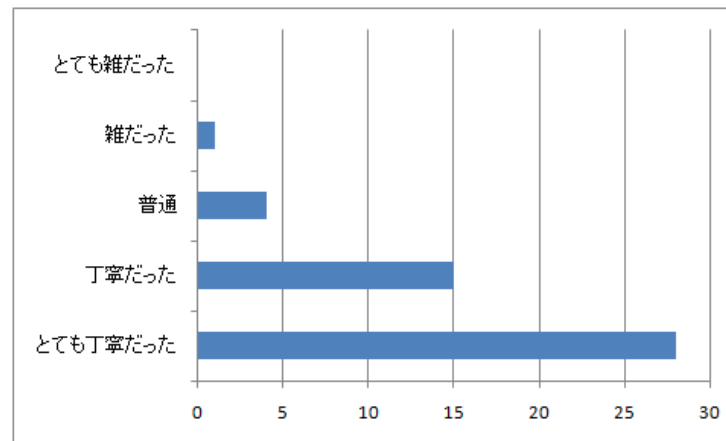
- 受験者数:48名(1名 棄権)
- 合格者数 6名
- 合格率 12.5%
- 正答率 52%
- 正答率分布



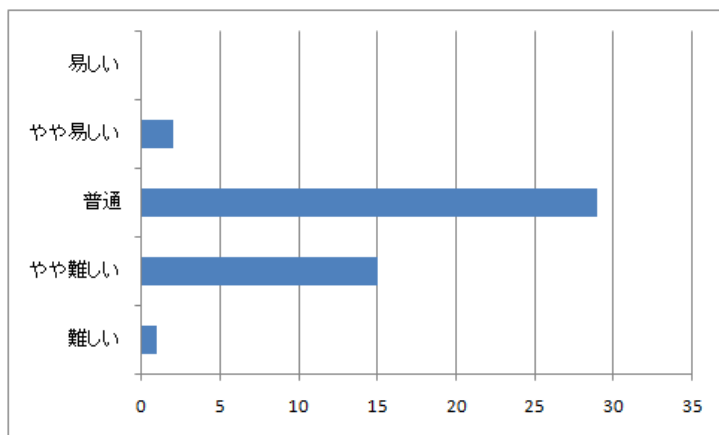
■ 技術的な難易度



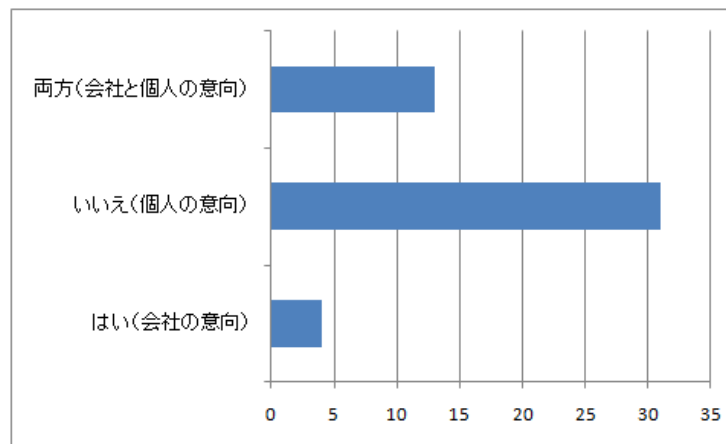
■ 運営について



■ 問題文の分かりやすさ



■ 申込は会社の意向である



1. 試験問題の【技術的難易度】についてのコメント

- Rails3が中心かと思っていたが、全般的な話で意外でした。が、この方向で良いと思います。
- 実は3.0.3でこれは出来る様になって、自分が知らないだけなのかも...と思うものが多かったです。
- バランスが少しおかしい部分がある。
- Rails開発をする上で知らなくても良い様なメソッドが出ている。(APIひけば良いので)
- ブロンズではない。
- Rails3系を普段使用していないので、難しいのは当たり前なのでしょうが...
- Rails2.3の本で勉強途中である自分にはわからない事が多いです。
- 難しく感じましたが、プログラマティックな良い試験だと思いました。
- ActionController、特にrouteに関する問題が、実務での比重に比べて難しかった。
- 問題によって難易度の差が大きい。
- ブロンズとしては難しいのではないかと。
- ゴールドが楽しみです。
- 数問難しいものもありましたが、このくらいの方が資格の価値があるかと。
- "参考書が出れば覚えて解けるとは思いますが、ブロンズにしては込み入った問題がいくつかありました。フレームワークとしての思想を理解しているかを問う問題があっても良かったと思います。"
- ActiveRecordのメソッドの有無などを問う問題は、method_missingなどの挙動を把握する必要があるので、ブロンズではきついと思う。
- 「1つ選べ」以外の問題がハードです！でも、良い問題と感じました。
- 一部普段使用しないメソッドが含まれており、難しく感じる問題も含まれていた。
- 初めて見たメソッドがあったため

1. 試験問題の【技術的難易度】についてのコメント

- ひっかけ問題がありましたが、未経験の場合、難しいと思います。
- ブロンズ試験としては難しい問題もあったと思います。
- 自分は少し時間が足りなく感じました。
- 部分的にひねりすぎている問題があった様に思われます。
- 問題が難しく時間が足りなかった。
- 実技問題が主だったため、参考書を元に座学を中心とした勉強をした立場からは、妥当性の判断すら出来ない。
- Railsの経験はあるのですが、問題に関しては分からない部分が多かった。
- 未就業者には難しいけど、Rails Hubで大体分かりそう。
- テスティングフレームワーク(rspec、cucumber)についての問題もあると良いかと思います。
- 約2年やっても分からない問題は多かった。別途「対策本」でも準備するのでしょうか？
- もう少しRailsの構成に触れても良いという感じを受けましたが、元々合格率の低い、レベルの高い試験が目的でしたら妥当と思われます。
- Rubyの知識も必要だと感じた。
- ブロンズとしてはもっと基本的な事項に絞った方が良いと思います。
- シルバー、プラチナレベルの想像がつかない。
- 未経験者対象にしてはやや難しいと感じた。
- 普通のRailsプログラマなら、それなり解けるであろう。
- ブロンズでは概要にとどめ、シルバー以降で実務的な問題を多くすると良いのかも。

1. 試験問題の【技術的難易度】についてのコメント

- 基本的にはRuby on Rails Guidesを勉強していれば解けるはず。しかし、未就業者向けという事であれば、少し難しめかと。
- 重箱の隅をつついた様な問題が結構あったので、一般のRails本で勉強していても分からないものが多い様に感じました。
- to-iの比較は難しかったです。
- Railsを始めたばかりではあるが、Railsのプログラミング経験が無いと無理。
- ブロンズ試験としては難しいと感じました。

2. 試験問題の【分かりやすさ】についてのコメント

- ブロンズであれば、複数回答ある時、その旨問題に記載した方が良い。
- やはり、誤字脱字が多い点より。
- あいまいな表現が多い。
- 1処理が2行に渡った際に分かりにくかった。誤りも多い様に感じました。
- "回答数について、「全て」と「1つ」と何もふられていないのがあったので、「全て」か「1つ」に統一されていると良いと感じた。"
- コードを表現するのにもっと良いフォント、書式があると思います。国家試験の問題用紙に比べたら分かりにくい。
- 一部、何を聞かれているか曖昧な問題があったが、全般的に分かりやすかった。
- 何通りかの読み方が出来るものがあった。
- 分かりやすい文章でした。
- 解答が単一かそうでないかは明記して欲しい。
- 問題の意味を取り違える様な設問はありませんでした。
- 全て選ぶや適切なものを選ぶといった言葉が揺れていて、少し不親切。
- 狙いがわからない問題はありませんでした。
- 1つだけ選択なのか、複数選択可なのか、分かりづらい問題がありました。
- コード部分ははっきり困ったり、イタリックにした方が良いのではないのでしょうか。
- "おおむね妥当であったと思われます。解答用紙のフォーマットが少々わかりにくかったです。横→縦でなく、縦→横の方が良いです。が、本試験はCBTと聞いていますので、問題ないでしょう。"
- 言葉の統一などをして欲しい。

2. 試験問題の【分かりやすさ】についてのコメント

- 実技問題が主だったため、参考書を元に座学を中心とした勉強をした立場からは、妥当性の判断すら出来ない。
- 分かりやすくない。どちらかと言えば、難解であった。
- 問いたい内容は分かりました。
- 長い問題文が無いのは良い。実アプリに不要なものがマイナス。
- 少し日本語が意味不明な所がありました。
- ひっかけ問題がややこしかった。
- 日本語としてこなわているところが見受けられました。
- 回答欄に解答番号の不備が見受けられた。問題の文章等はとくに普通だった。
- 誤記は目立ったものの、問題自体は普通だった。
- 一部前提条件が不足していると感じました。(testの問題)
- 特に問題なかったです。

3. ベータ試験の運営についてのコメント

- 良かったと思います。
- 会場JAビルはすぐ分かったが、7Fへの行き方に戸惑ってしまった。
- 開始時が、少し分かりにくかったかも。
- 吉政さんはとても丁寧でした。
- 試験官の説明が分かり辛かった。
- 有難うございます。
- 特に迷う事無く、受験出来ました。
- 運営に関してはスムーズで非常に良かったです。
- 問題、回答用紙の不備を改善すれば普通です。
- 回答用紙に不備があったのは残念。
- 当選者だけに少しコンテンツを公開頂けたらと思いました。
- 丁寧だったと思います。
- 手順の説明はとても分かり易く、丁寧でした。
- ビルに入って会場(7F)に向かうのが手間取った。1Fに案内が欲しい。
- よしまささんおつかれさまです。

4. 試験への申し込みは所属会社の意向か？ についてのコメント

- 不合格になると思いますが、再チャレンジしたいです！
- Rails自体のアーキテクチャに興味を持っております。
- これからRailsを使って行こうと考えているため、その足掛かりとして受験しました。

6. 試験運営委員会やベータ試験についてのコメント

- 今日参加させて頂き、有難うございました。非常に参考になりました。
- "ややこしいひっかけ問題でなく、より実務的な内容で作って頂きたいです。今後本試験も受けたいので宜しくお願いします。"
- "問題のブラッシュアップ、頑張ってください。問題用紙に意見を記入しました。参考になれば幸いです。"
- 電卓は要らなかった。
- Rails2っぽい書き方は出題しなくてもいいのでは？(後方互換)
- 業務で使うにはまだまだ2系が多いので、2系の資格もあるといいな。
- Railsスキルアップのモチベーションにとってもプラスになります。
- こういった試験を通じて、職場でのRailsの認知度や存在感が向上する事を期待しています。
- ベータテストに参加させて頂き、有難うございました。
- 大変ですね。頑張ってください。
- "自分の理解が足りてないところがあるので、良かった。本番はCBTですよね？"
- 本試験が始まりましたら、他の社員にも受けて貰おうと思っています。
- "オラクルのようにプロダクトのバージョンアップにより、新試験を作るとなると、資格の価値が十分高くないと、取得するモチベーションが上がらないと思う。"
- 楽しかったです！
- 問題数が少ない様に感じました。
- "必要と思うもの。・bundler ・route.rb もう少しあるといいかも ・arel ももう少し "
- 有難うございました。
- 解答を縦に入力していく方が良いと個人的には思います。

6. 試験運営委員会やベータ試験についてのコメント

- Rails技術者認定試験についてのテキスト等があれば教えて頂きたいです。
- サンプルの問題を見てみたかった。
- 認定試験が出来たのは嬉しい。Railsのバージョンが上がったらどうする？
- 日本でもRails開発が盛り上がる様、活動を期待しています。有難うございました。
- Rails試験は必要だと思っていました。対象者や、目的に見合ったものにして下さい。
- 今後、多くのコンテンツの公開を期待しています。
- 難易度別に試験があればいいと思います。
- 問題文が縦に並んでいるのに、回答欄が横に進む様になっているのは、少々戸惑いました。
- "とても良い質の高い問題だと思います。問題数もちょうど良かった。テストフレームワークはRSpecしか使わない技術者にとってツライ。"
- これからRails等Rubyの認定試験が増えていくと、Ruby関連の活気も増えていくと思います。
- 選択式ならば、CBTの方が集計コストが低いのではないかと思った。
- "価値ある資格となれば嬉しいが、そもそもRubyが好きでやっているの、存在するだけでやる気になれる。Silver,Goldと続けて欲しいです。"
- 知らないクーパーメソッドがあったりしたので、可能なら解答が欲しいと思いました。
- 応募の際、会社名入力が必要だったのはいかがかと。私の様なフリーランス技術者や未就業者は困ります。

ご不明な点は事務局までお気軽にお申し付けください。

Rails技術者認定試験運営委員会 事務局(アールラーニング内)

Mail : office@railscp.jp

公式Twitter <http://twitter.com/railscp>

TEL: 03-6457-7021 FAX: 03-6457-7022

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-11-6 VARCA四谷 3F